

しば佳代子通信


発行：しば佳代子を励ます会 高島平 3-10-8-402 TEL：03-6904-0661

2012年(平成24年)2月21日(火曜日) 第15

UR住民の生活守れ

独立行政 法人改革 居住安定を最優先に

衆院予算委で
高木(陽)氏



20日の衆院予算委員会の基本方針の中で、都市再生機構(UR)の居住者の居住の安定確保を最優先させるよう強く迫りました。

「高額政府出資の特別政治人の見直しに検討、な」と

は10年4月、独立行政の必要性について「14の高齢者や低所得者が、必要に応じて、URの借金を抱え、暮らしの現状を強調する必要がある」と述べ、「UR改革の検討は、機の上の議論でなければならない」と訴えた。

また、UR改革は、住宅の供給が自治体に移行し、市場化に移行する中、UR改革による影響が、UR改革の必要性を強調する必要がある」と述べ、「UR改革の検討は、機の上の議論でなければならない」と訴えた。

「特殊会社化」で民間に踏み出す考えを表明した。UR改革の必要性を強調する必要がある」と述べ、「UR改革の検討は、機の上の議論でなければならない」と訴えた。

高木氏は、UR改革の必要性を強調する必要がある」と述べ、「UR改革の検討は、機の上の議論でなければならない」と訴えた。

公明党 高木陽介衆議院議員が衆院予算委員会で、移住者の移住の安定確保を最優先させるよう強く迫りました。

また、「UR改革の検討は机の上の議論ではなく、**移住者の生の声を聞いてほしい。住んでいる人の生活をどうするかという視点を絶対に忘れるべきではない**」と力説しました。

街頭演説を行いました

女性局キャラバン隊「女性の元氣応援隊」として、高島平駅前で街頭演説を行いました。

